

授業科目	* 応用英語 (B クラス)				単位	1		
履 修	選択	関連資格			ナンバリング	TO11602J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3			
担当教員	林 裕二							
授業概要	<p>1. 担当教員が指定したテキストの問題を解くことができるようにする。</p> <p>2. 英語を声を出して読み、伝えることができるようにするトレーニングをする。</p> <p>3. 前期の「基礎英語」よりも、高いレベルの多読テキストに取り組み、基本的英文を含むレポートが書けるようにする。</p> <p>4. 対面授業で行う。</p>							
学生が達成すべき行動目標	<p>1 観光文化学科関連の基礎的な英語の本を読むことができる。</p> <p>2 英検二級程度の英文を辞書をほとんど辞書を使わずに読むことができる。</p> <p>3 自分の選んだジャンル、レベルの英語の多読の本を意欲的に読み、基本的な英文を含むレポート(4回分以上の Report )を書くことができる。これが、評価割合の 20%です。部分点あります。</p> <p>4 E-Learning の CHleru の学習マイルを 300 以上を授業時間外に獲得する。これが評価割合の 10%です。部分点ありません。</p> <p>5 共通テキスト( TOEIC テストにできる順英単語)を使って語彙力を高めることができる。これを確認する小テストは評価 10%です。</p>							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	60	10	20	0	10	0	100	
知識・理解 (DP1-1)	20		10		10		40	
知識・理解 (DP1-2)	20		10				30	
知識・理解 (DP1-3)	20	10					30	
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
<p>1 辞書を使わずに基本的な長文の読解ができる。</p> <p>2 月 4 冊以上の英語の多読の本を読むことができる。</p>				<p>1 辞書を使って基本的レベルの長文の読解ができる。</p> <p>2 月 3 冊以上の英語の多読の本を読むことができる。</p>				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション	講義	復習 オリエンテーションの内容理解	復習 30分
2	タイトルや絵・写真から推測	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
3	意味の切れ目に注意する	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
4	ディスコース・マーカーに注意する(1)	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
5	ディスコース・マーカーに注意する(2)	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
6	トピックセンテンスを考える	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
7	パラグラフで意味を取る(1)	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
8	パラグラフで意味を取る(2) 中間テスト	演習、講義、小テスト	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
9	知らない単語に出会ったら	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
10	スキヤニング	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
11	フォニックス	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
12	時間の流れ	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
13	事実と意見の弁別	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
14	背景知識を参考に読む	演習、講義	多読図書を読む、次の章の英文和訳をする。	予習 50分 復習 30分
15	まとめ・確認	演習、講義	これまでの学びをまとめる	予習 60分
16				
17				
18				
19				

20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能				
大学の前期までに学んだ英語表現を確実に身につけておく。				
テキスト				
担当者が指示したテキスト 共通テキスト: カラー版 TOEIC テストに できる順英単語 河上 源一 (著) ブルース ハード (監修) Bruce Hird (原著) *このテキストは、最初からp262 までがこの授業の範囲です。				
参考図書・教材 / データベース・雑誌等の紹介				
図書館の多読図書 NHKの英語講座「Enjoy Simple English」や「ラジオ英会話」、「英会話タイムトライアル」、「高校生からはじめられる「現代英語」」等は続けて利用すると効果的です。 毎日ウィークリー 音声 ( <a href="http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/">http://mainichi-podcasting.cocolog-nifty.com/weekly/</a> )				
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ				
次の人を表彰します。 ・CHleru の学習マイルが多い人 ・多読のページが多い人 ・多読のページが多くてレベルの高い本を読んだ人				
達成度評価に関するコメント				
出席とレポートの提出、マイル数達成が大切です。日頃の積み重ねが大事です。CHleru で英語に触れれば触れるほど、聞く力、読む力は伸びていきます。自動的に送られてくる「週刊英語」は楽しく学ぶことができます。 評価割合の試験(60)の内訳は、中間テストが 30、最後のテストが 30 で、合計 60 です。 多読のレポートは、毎月少なくとも1回分は出すこと。授業の最終月に新規に3週分以上を出すことはできません。 「TOEIC にできる順英単語」は、授業最初の小テストで使います。小テストに遅れたら「遅刻」となります。				

